

経営比較分析表（令和4年度決算）

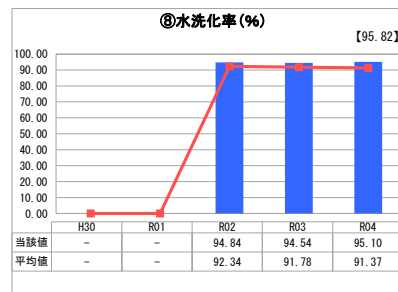
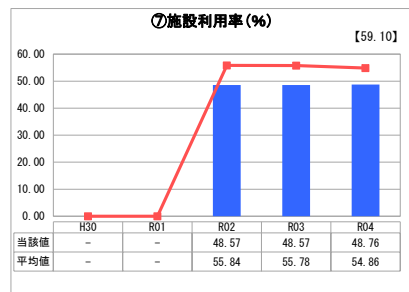
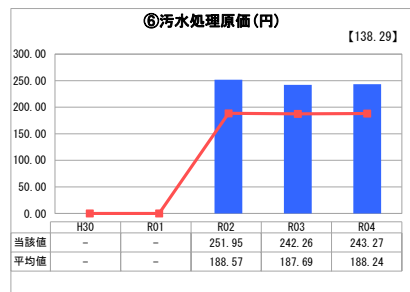
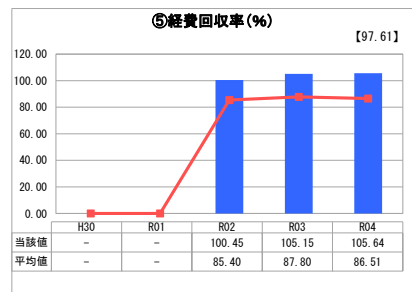
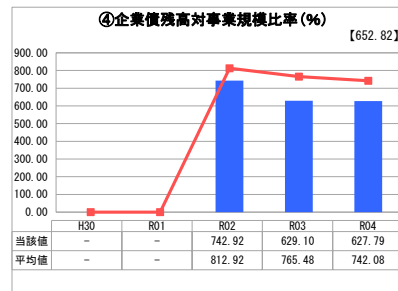
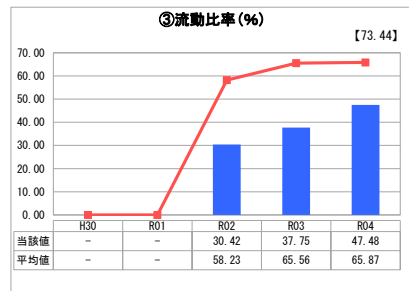
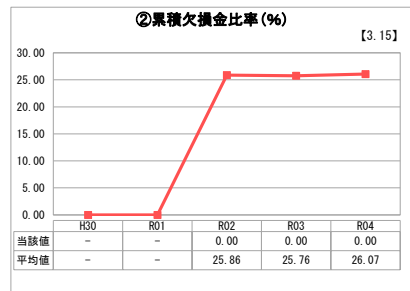
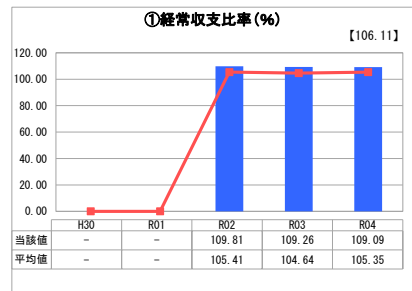
北海道 白老町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	66.99	86.89	78.74	4,422

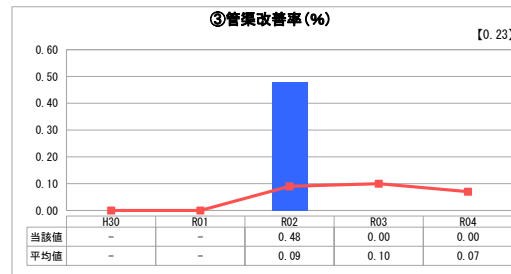
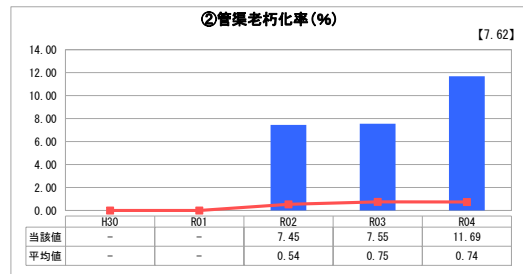
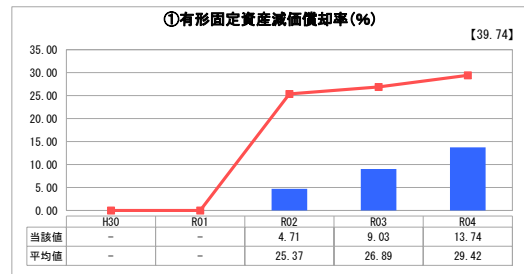
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,721	425.64	36.93
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
13,525	7.71	1,754.22

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 昨年度比ほぼ横ばいで、経営収支比率は100%を超えていることから、経営の健全性は確保されている。
- ② 黒字決算のため計上されない。
- ③ 年々改善傾向であるものの、依然として平均を下回っていることから資金確保が課題となっている。
- ④ 年々改善傾向であり、今後もより改善される見通しである。
- ⑤ 主に業務用が堅調であり100%を超え増加であるが、長期的には人口減により収入は減少が見込まれる。
- ⑥ 昨年度比ほぼ横ばいで、類似団体の平均を上回っていることから、維持管理費の抑制に努めるなど改善を要する。
- ⑦ ほぼ横ばいで推移しており施設がやや過大なスペックとなっているため、次期改修時に検討を要する。
- ⑧ 100%には満たないものの、普及拡大はおおむね終了している。

2. 老朽化の状況について

- ① 法適用からまだ3年しか経過していないため有形固定資産減価償却累計額が少額であることから、類似団体平均を下回っているが、今後増加する見込みである。
- ②・③ 下水道事業ストックマネジメント計画等に基づき改善に努めたい。

全体総括

令和4年度決算も黒字決算となったものの、現在堅調である下水道使用料収入は長期的に減少が見込まれる。また、施設老朽化による修繕・更新等の費用増が見込まれることからより計画的な対応を行いたい。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。